

2008年12月

AAAL 環境委員会 定例会議開催

AAAL 情報委員会



開催概要 >

- 1.日時：2008年11月25日(火)15:00~17:00
- 2.場所：APARA 事務所
- 3.議題： AAAL 第2回代表者会議についての報告
第9回 AAAL 環境委員会工場視察
について
APARA 第23回環境タスク
(工場視察)の報告
4つのキーワードの中からエネルギー
と廃棄

【AAAL第2回代表者会議（10月24日）についての報告】

代表者会議において5委員会各代表者が行った報告の概要が報告された。（出席者31名）

【第9回AAAL環境委員会工場視察（9月24~25日）について】

工場視察先は広島市の(有)丸津商店と東邦亜鉛(株)契島精錬所（参加者10名）

有限会社丸津商店(東広島市黒瀬町)

- 事業内容 ・ 産業廃棄物の収集運搬及び処分、使用済み鉛蓄電池の収集運搬及び処分
・ 使用済みアルカリ電池の収集運搬及び処分と非鉄金属の売買

所感：

- 1)広島県下でのシェアは圧倒的(7~8割)であるが、県外のシェアを伸ばしたいとのことで、現工場に移転(3年経過)して設備を拡張した。しかしながら、視察時点の状況を見ると処理能力に比べ、産廃収集量が明らかに不足であるように感じられた。
- 2)国内は保有台数が頭打ちで回収も難しい状況になっている。さらに、中国や韓国などのアジア圏の業者が自国に持ち帰り解体している。(集荷量不足の要因)

東邦亜鉛株式会社 契島精錬所(豊田郡大崎上島町)

- 事業内容 ・ 非鉄金属精錬業、電子部品、電子材料事業、機器部品事業
・ 環境、リサイクル事業、ソフトカーム(防音建材) 事業

所感：

国の排出基準の1/2を工場の基準として管理している。また、工場が島という立地から騒音対策は必要ないが、瀬戸内海特別措置法もあり、鉛精錬事業と云う面からも環境面への配慮していることが充分感じられた。

【APARA第23回環境タスク(工場視察)の報告】

9月18日に知多リサイクル名古屋工場、王子製紙春日井工場、9月19日に住友ゴム工業名古屋工場、トヨタ紡織刈谷工場の視察を行なった。

今回の視察の目的は、タイヤのリサイクルの状況確認、APARAの環境タスクにおいて産廃業者チェックシート作成に取り組んでいることから、その指針となる業者の視察を行ない、参考とすることにありました。

四社とも環境に配慮した会社であるのはもちろん、地域との共生を図っており、クリーン性を地域住民にアピールしている。廃タイヤは中間処理後の販路が多くなり需要が高まっている。不法投棄が問題になっているが、回収して処理すれば有価で販売できるのでリサイクル化の促進が期待される。

【4つのキーワードの中からエネルギーと廃棄のテーマについての討議】

- ・APARAとして現在廃棄で困っているものは、タイヤ以外のゴム類(ワイバー、ブレード)製品である。鉄分などは有価として引き取ってもらっている。
- ・オイルフィルタは油分を切って潰して(クラッシャーで圧縮)回収している。
- ・会員各社に対しては、上記のように再利用している事例をまとめ、次回までに提出してもらうこととした。

切り口が様々考えられるため、AAA加盟企業において『廃棄』について困っている商品や商材を、各団体の事務局が取りまとめを行った上で再討議することとした。また、『エネルギー』については“このような廃棄物を再利用して熱源としている”というような事例を、JFAへメールしていただくようお願いします。(フリーフォーム。

E-Mail: info@f-a.jp) 以上